
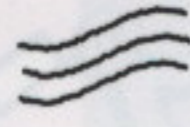


ほっと♡クロス

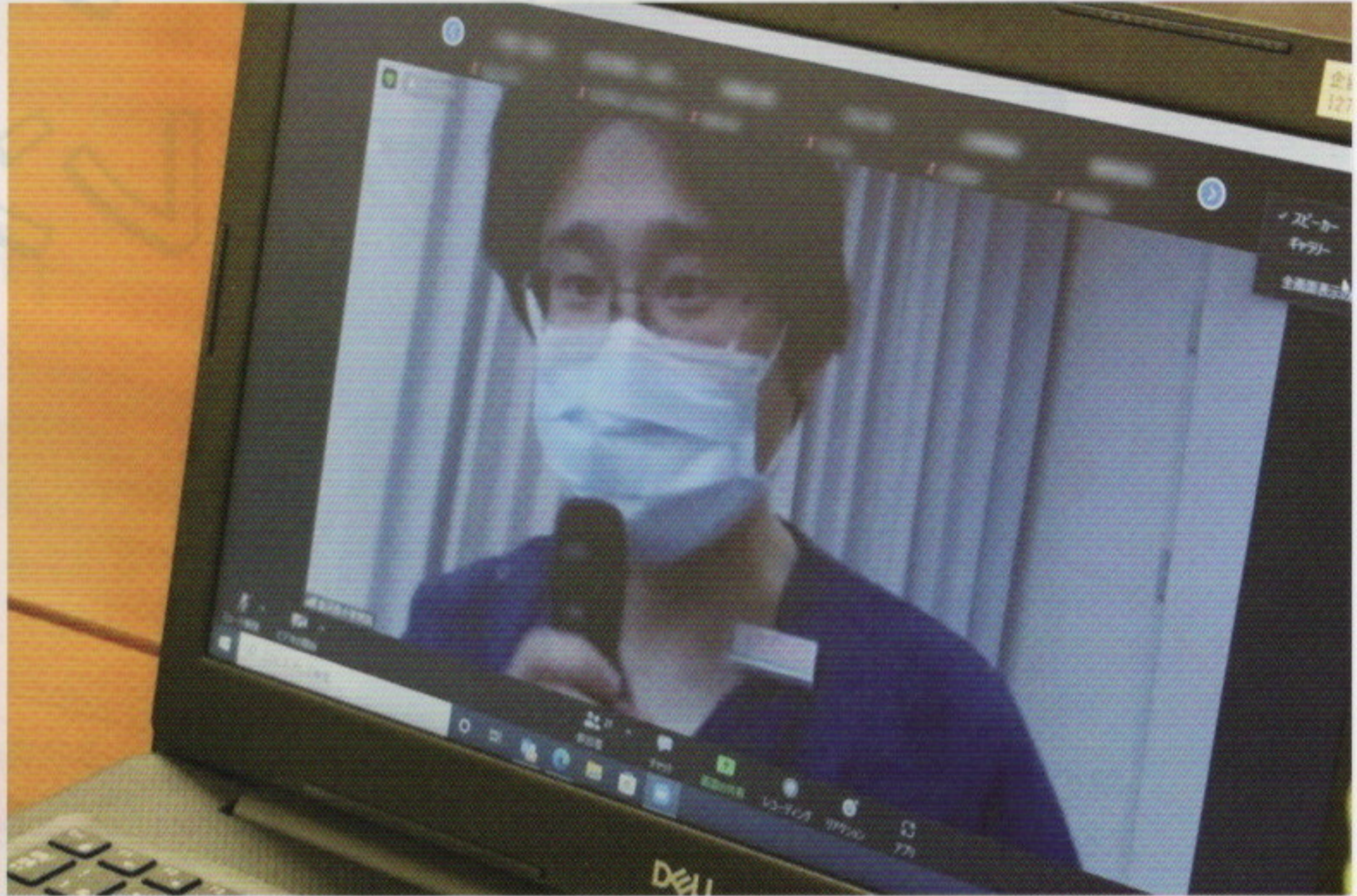
vol. **63**
2022.3.31

かなざわ日赤ニュース  




金沢赤十字病院

日本赤十字社



特集

再始動!

オープン・クリニカル
カンファレンス 

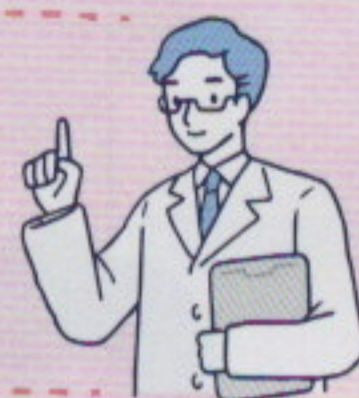
Topics

回復期リハビリテーション病棟について
ほっと♡レシピ

特集

再始動!

オープン・クリニカル カンファレンス



2年ぶりに再開

2月4日、当院5階の講義室
においてオープン・クリニカルカンファ
レンスを開催しました。

オープン・クリニカルカンファレンスとは、当
院の診療の特色や特に力を入れていることを医師や
スタッフが地域の医療機関の先生方に説明することに
より、当院と地域の医療機関の連携を推進する重要な
イベントです。

今なお新型コロナウイルスの影響が続く中、
2年ぶりの開催となった今回は、会場での
参加のほか、Zoomを利用したオンラ
イン参加も可能としました。

いよいよ再始動

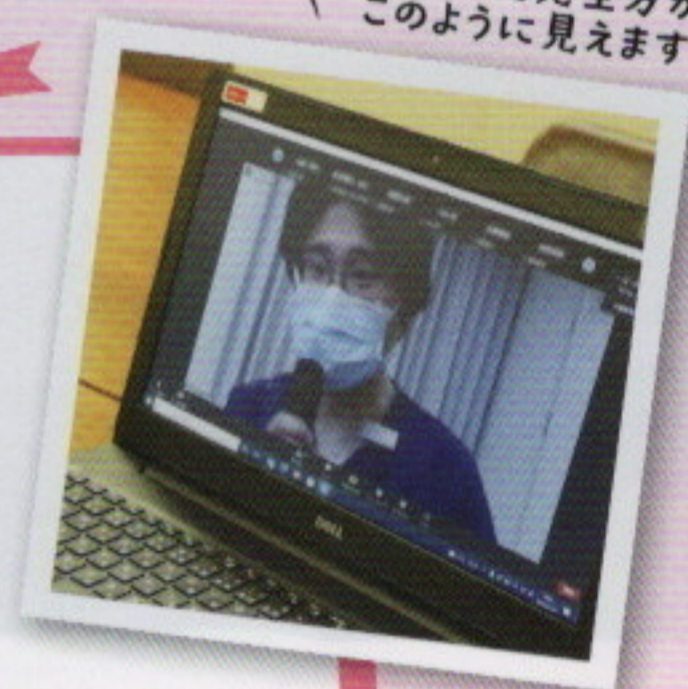
再開第一弾となった今回は、当院
の新進気鋭の中堅医師2人による講演を
行いました。

当日は新型コロナ第6波の対応の最中にもか
かわらず15名の先生方にZoomで参加いた
だきました。また、会場には同僚の医師をは
じめ多くの職員が集まり、カンファレンス
を聴講しました。

ハイブリッド会議とは?

今回のオープン・クリニカルカンファレンス
は、会場室での会議とオンライン会議をあわせ
て行うハイブリッド会議の形式で行いました。
どちらかの方式で行う会議と比べて、音響や
映像機器の設定が複雑になるだけでなく、講演者も
会場とオンライン双方の参加者のことを考えながら分かり
やすく説明することが重要になりますが、参加される方
にとっては選択肢が広がりますので、より多くの方に参加
いただけるのではと期待しています。

参加された先生方から
このように見えます



新しい内視鏡機器の導入と、 早期がんに対する内視鏡治療

消化器内科 木戸 秀典

当院では早期がんに対する内視鏡治療にも力を入れており、周囲の医療機関のご協力も得て、治療症例数が大きく増加してきています。また、昨年8月には次世代の内視鏡システムを導入し、検査及び治療用のスコープを刷新しています。当院での取り組み、次世代内視鏡による実際の治療の様子を紹介しました。



木戸医師



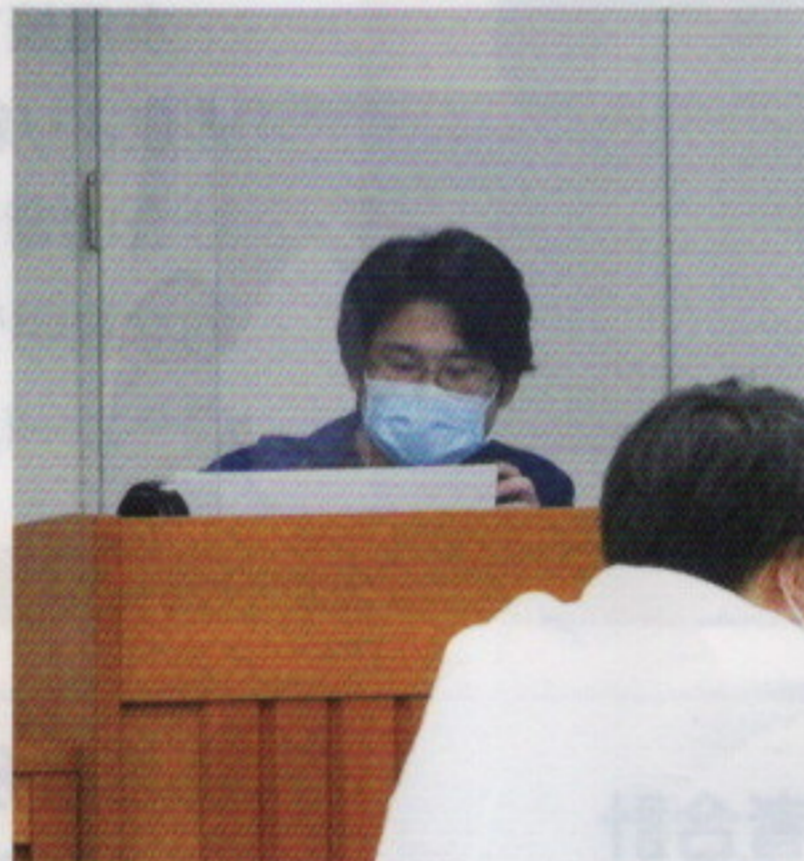
司会進行の二上副院長

慢性腎臓病の地域連携

内科 下村 修治

慢性腎不全患者は腎不全の治療のみではなく、糖尿病、高血圧の管理、悪性腫瘍スクリーニング、アドバンスドケアプランニングの作成など包括的な医療・福祉が求められています。

当院のみではなく地域の医療施設と連携により、よりよい医療・福祉を提供できることについて説明しました。



下村医師



会場の様子

再始動によせて

当院では、オープン・クリニカルカンファレンスなどを通じて地域の医療機関と連携を深めることにより、地域のみなさまへより安全で質の高い医療を提供し、地域に貢献したいと考えております。

オープン・クリニカルカンファレンスについても、参加いただいた先生方からご意見やご要望を伺いながら、より充実したものにしていきたいと考えています。まだ新型コロナの影響が続きますが、定期的に関係していききたいと考えておりますのでご期待ください。

院長 寺崎 修一



回復期 リハビリ 病棟に

主に脳卒中や大腿骨等の骨折の急性期医療を終了した棟です。理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が機能訓練なリハビリテーションを行います。加えて当院では、**土日祝期**の機能回復と自宅復帰を目指しています。

また当院では、**生活環境を早期に把握するために入院直**想定してリハビリテーションを実施していきます。必要に応での動きを確認するとともに住宅改修や福祉用具について本病棟では理学療法士、作業療法士、言語聴覚士だけで年度より新たに加わった管理栄養士も加え、チームとなって社会的背景に関する課題に対応していきます。多職種による説明や話し合いの場を設けることで、スムーズな退院やワーカーは利用できる社会制度や退院後の療養先等につい

令和2年度 回復期 リハビリテーション 病棟実績

(R2.4月～R3.3月)

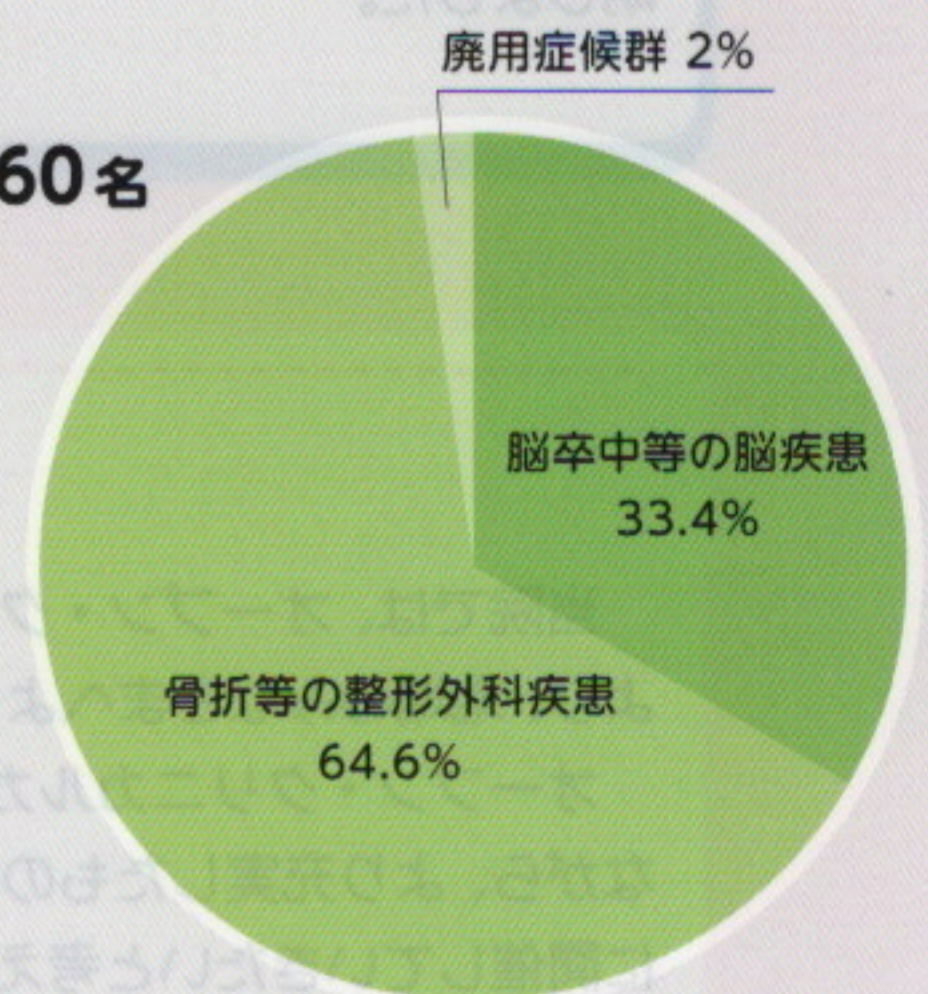
入院患者合計
248名

入院時訪問件数
53件

入院患者重症割合
(日常生活機能評価10点以上)
29.8%

入院患者疾患構成

脳血管疾患 **83名**
運動器疾患
(脊椎疾患、頸髄損傷含む) **160名**
廃用症候群 **5名**



テーシヨン ついで



後、自宅復帰のためにリハビリテーションを集中的に行う病
だけではなく病棟での実際の生活場面に入り込んで積極的
日を含めた365日のリハビリテーションを実施しており、早

後の家屋調査を実施しており、入院中から退院後の生活を
じて退院前にも家屋調査を実施し、患者さん本人のご自宅
のアドバイスもさせていただきます。

なく、医師、看護師、医療ソーシャルワーカー、そして令和3
情報を共有しながら、患者さん個々の身体機能、栄養状態、
定期的なカンファレンスや患者さんご家族も交えた定期
退院後の生活につなげていきます。その中で医療ソーシャル
でのご相談をお受けします。



重症患者における 改善者割合

(日常生活機能評価4点以上改善)

52.6%

在宅復帰率

(有料老人ホーム等の在宅系施設を含む)

91.4%

在宅復帰率

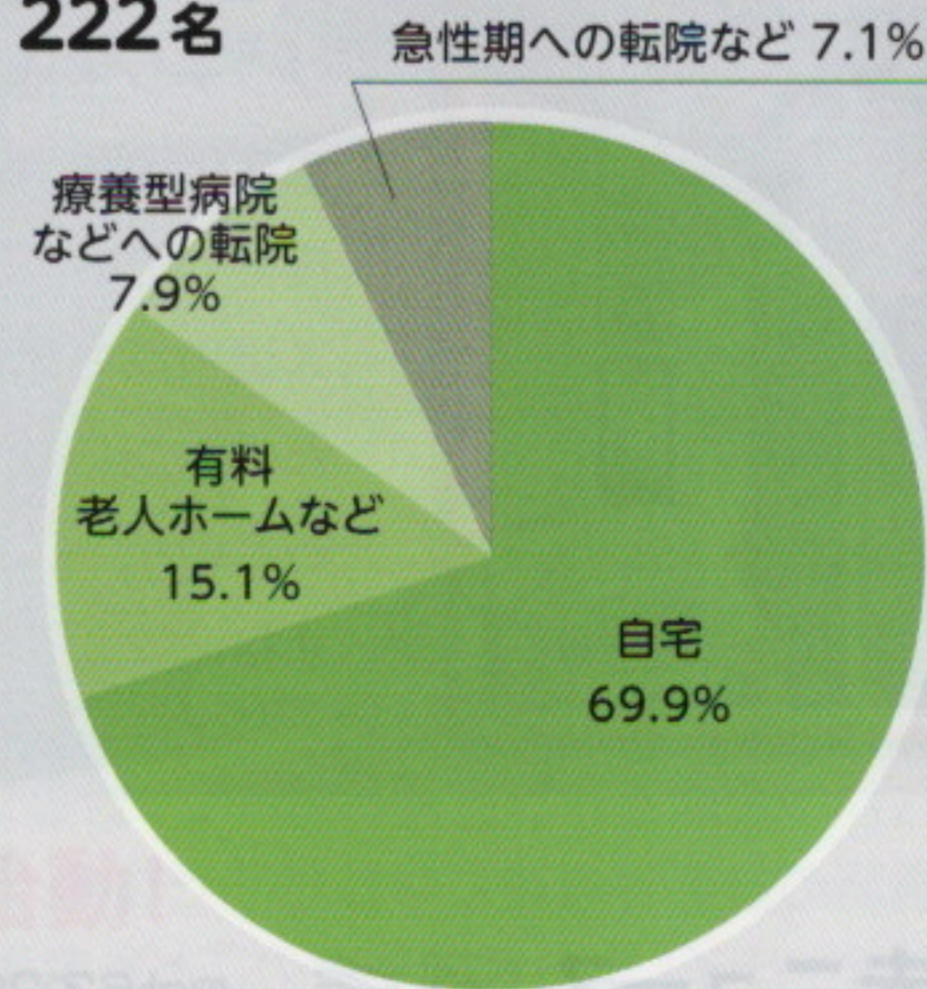
(自宅のみ)

75.2%



退院患者

222名



在院日数

47.9日



リハ実施平均単位数

合計4.95単位/日



材料(4人分)

・卵 …………… M玉4個(200g)
・だし …… 300ml(卵重量の1.5倍)
・塩 …………… 1.2g
・淡口醤油 …………… 4ml
・砂糖 …………… 少々(一つまみ強)

【あんかけ材料】

・玉ねぎ …………… 120g
・にんじん …………… 40g
・むきえび(冷凍) …………… 80g
・きぬさや …………… 60g
・みつば …………… 8g
・だし …………… 160ml
・淡口醤油 …………… 12ml
・みりん …………… 8ml
・水溶き片栗粉 …………… 適量

【道具】

・15×15×3cmの流し缶1個分

栄養課考案!

ほっと・レシピ

卵豆腐野菜あんかけ



1人分 エネルギー 128kcal
塩分 1.4g

作り方

- ①卵を割りよく混ぜ、塩、薄口醤油で味付けしだし汁と混ぜ合わせる。
- ②①を裏ごしし、流し缶に入れる。
- ③蒸気の上上がった蒸し器に入れ、最初は強火で5分、あと弱火で7～15分蒸す。
- ④あんを作る。
 - (1) だし汁に、たまねぎ、にんじん、むきエビ、きぬさやの順に入れ、火を通す。
 - (2) 醤油、みりんで味を調える。
 - (3) 水溶き片栗粉でとろみをつける。
 - (4) 最後にみつばを加える。
- ⑤蒸しあがった卵豆腐に、④のあんをかけて完成。

ワンポイント

- ・卵豆腐を裏ごしすることで滑らかになります。流し入れた後に表面に浮いている気泡を取り除くとより綺麗に仕上がります。
- ・蒸し器(鍋)とふたの間に箸を1本噛ます事で、蒸し器の中が90℃に保たれ、綺麗に仕上がります。
- ・蒸しすぎると気泡(す)が入るので、強火、弱火の蒸し時間に注意しましょう。火加減や厚さにより、上記の時間よりも早く蒸しあがることもあります。
- ・きぬさや、みつばは火を通しすぎると色が悪くなるので、さっと熱を加える程度にとどめましょう。
- ・暑い季節には冷蔵庫で冷やしても美味しくいただけます。盛り付けもガラス製の器など涼やかなものを選ぶと見た目でも楽しめる1品となります。

お知らせ

正面玄関で実施している検温方法が少し変わりました。

従来は通り抜けるだけで検温が完了し、ご自身の体温がわからないままとなっていました。今後(2月21日から)は液晶画面に顔を向けると体温が表示されるため、発熱の有無がご自身で確認できるようになりました。立ち止まる必要がありますが、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



| 編集後記 | 広報委員会 枝廣

コロナ禍も3年目を迎えましたが、3回目のワクチン接種を行うことで、現変異株に対する重症化予防、死亡率低下が期待できるため、是非接種したいところです。また、新型コロナウイルス治療薬も承認され使用できるため、普通の風邪のようになる日は近いかもしれません。早くもとの生活に戻れる日が来ることを願っていますね。

ほっと・クロス

かなざわ日赤ニュース

vol.63 2022年3月31日



金沢赤十字病院

■ 発行人：寺崎修一
■ 編集：金沢赤十字病院 広報委員会
■ 発行所：〒921-8162 石川県金沢市三馬2-251

■ 電話番号：TEL.076(242)8131 FAX.076(243)7552
■ 金沢赤十字病院 ホームページ
■ <http://www.kanazawa-rc-hosp.jp>



金沢赤十字病院

検索